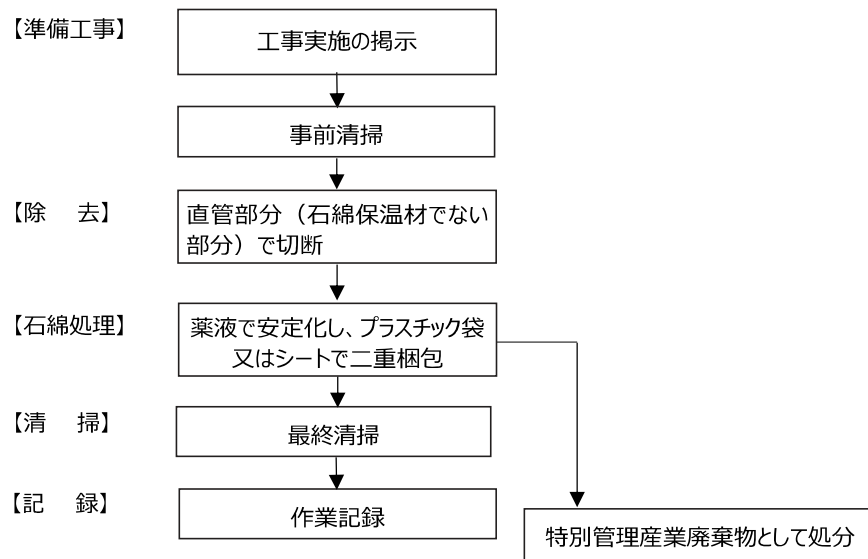


アスベスト含有配管保温材除去計画

非石綿含有部での切断による除去

建築物の設備配管では、直管部分がグラスウール保温材で、曲がり部分にのみ石綿含有保温材が使用されていることが多い。本工法はそのような場合に適用できる方法である。

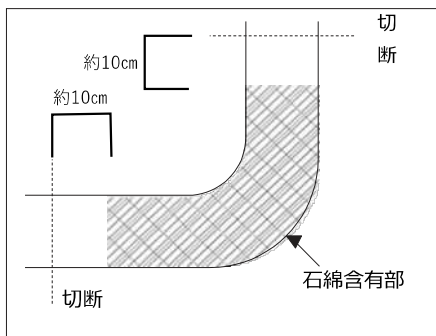
(1) 除去手順



非石綿含有部での切断による除去作業手順

(2) 留意事項

直接石綿含有保温材に触れるわけではないので、石綿繊維の飛散のおそれがない場合には、大防法の届出は不要とされている。ただし、石綿則では、石綿取り扱い作業にも該当しないものの、計画の届出は必要とされている。

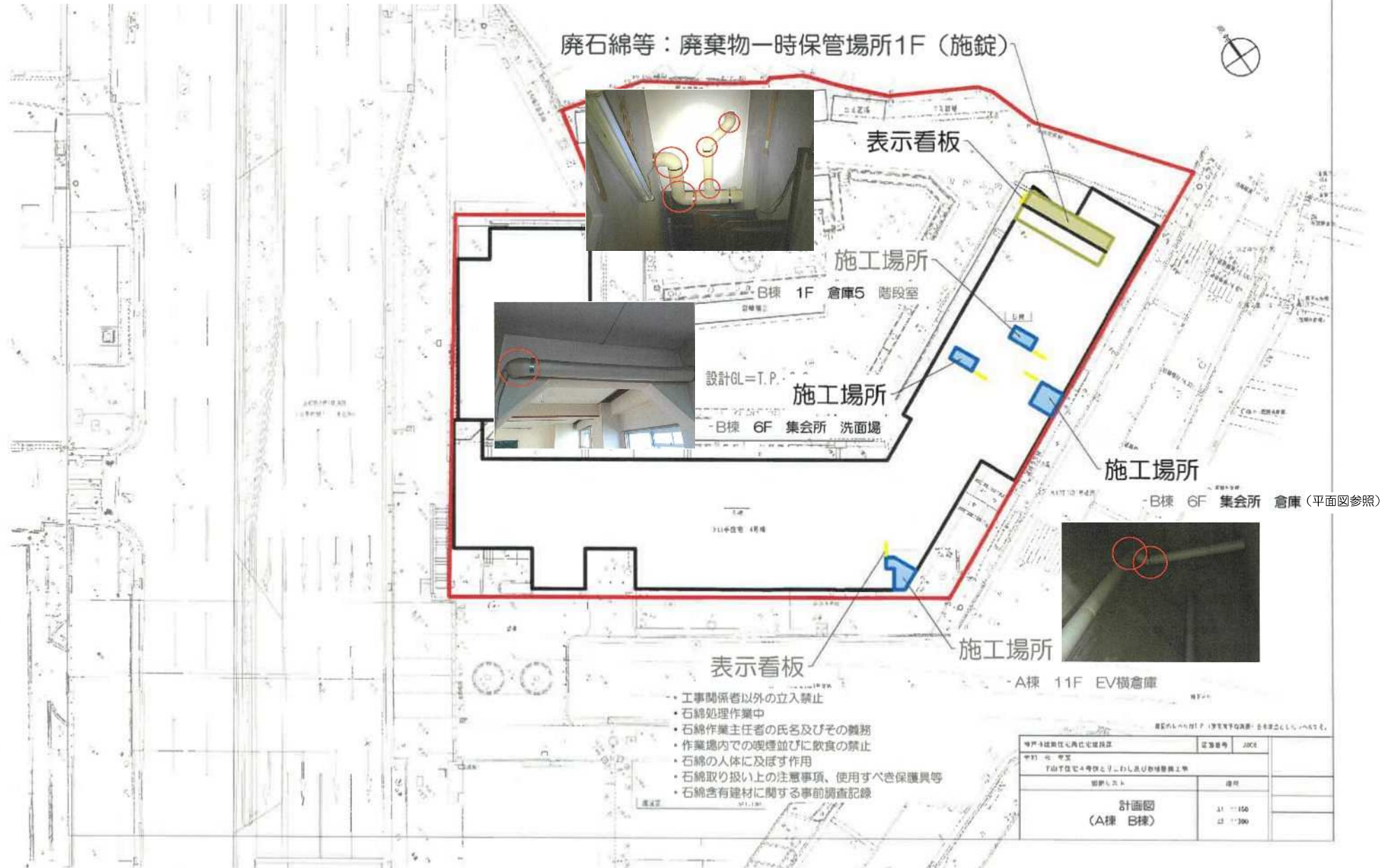


配管保温材の除去

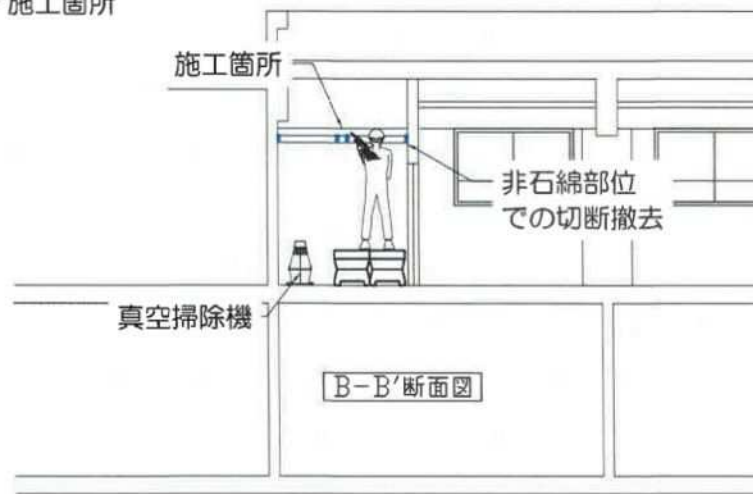
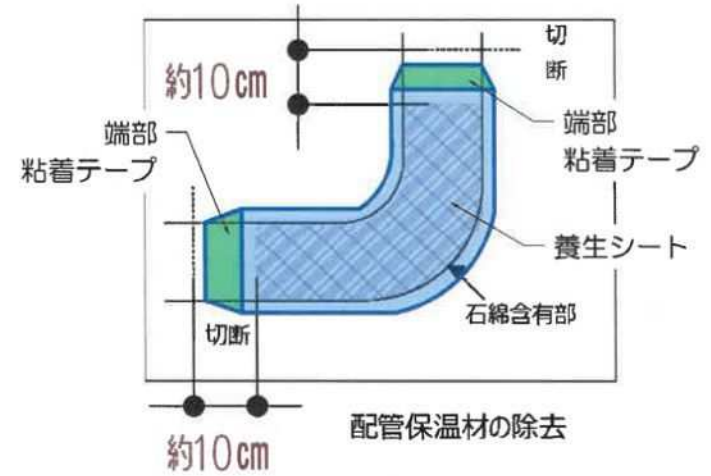
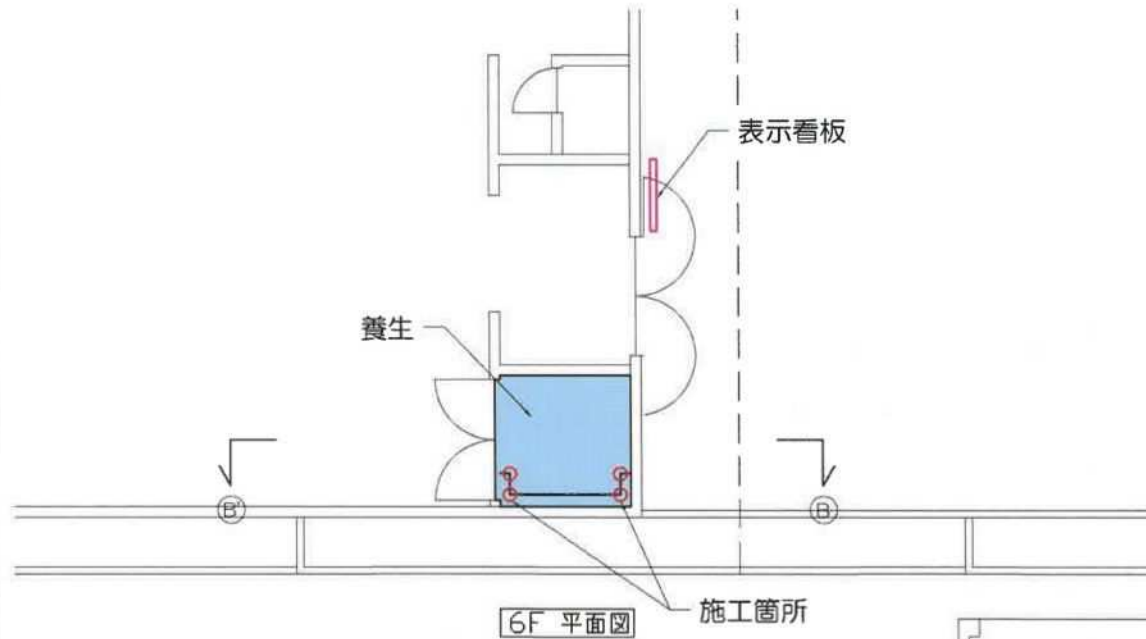


除去した石綿含有保温材付配管を 梱包し、廃石綿等として処理するイメージ写真（廃棄にあたっては石綿を含む廃棄物が入っていること及び取扱い注意事項を表示する。）

アスベスト含有配管保温材除去計画



配管保温材撤去



訂正	年月日

工事名称	下山手住宅4号棟とりこわし及び敷地整備工事
図面名称	石綿除去施工計画図